

淀川4ダム国交省「建設」

水系委

「4ダム原案見直しを」

水利権の転用を協議する
常設機関の設置などを求
る取組を推進する

「又発続々」

嘉田知事

滋賀県 事は十二で、大戸山など四ダム、んだ近畿川水系河川

河川法の本質忘れらるな

河川法が改正されて10年余りが経ちました。改正河川法は、河川の環境保全の重要性を明文化し、同時に河川政策への市民参加と市民意見の反映をうたいあげていますが、これら重要改正点が実際の河川整備に活かされているでしょうか。いま全国の各地で川の本来の姿を取り戻す活動が行われています。淀川では改正河川法の趣旨を活かした河川整備の実現を目指していますが、これを全国の大きな流れにする必要があると強く感じています。昨年の徳島での「川の全国シンポジウム」に続いて、今年度は京都で河川整備のあり方を話し合いませんか。本シンポジウムの趣旨に賛同される方は、源氏物語千年祭に彩られた11月の京都でお会いしましょう。

川の全国シンポジウム 淀川からの発信



開催日 2008年11月2日(日)、3日(月・祝)
場所 京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール(京都市左京区吉田本町)
主催 川の全国シンポジウム実行委員会
委員長 川那部浩哉(琵琶湖博物館館長)

私も参加します!



UNEP親善大使 加藤登紀子

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

- 11月2日(日)
10:00 オープニング・セッション
[開会挨拶] 実行委員長 川那部浩哉
[基調講演1] 龍谷大学法学部教授 寺田武彦
[基調講演2] PHP総合研究代表取締役 江口克彦
11:40 ポスターセッション(時計台・国際交流ホール特)
13:40 セッション1: 淀川水系流域委員会からの発信
16:00 セッション2: 河川管理における地方分権 - 3知事からの発信 - パネルディスカッション: 嘉田由紀子×山田啓二×橋下徹(予定)
17:30 地域からの発信(1)
17:50 加藤登紀子 川への想いを語る(仮題)
19:00 懇親会(京大吉田生協)

- 11月3日(月・祝)
10:00 セッション3: 政党からの発信 パネルディスカッション: 河川法の改正をどう活かすか
12:00 映画「みずになつたふるさと」上映
13:00 セッション4: 流域委員会の役割 [講演] 全国における流域委員会の実態 蔵治光一郎
14:00 地域からの発信(2)
16:30 総括報告 / 京都宣言

裏面もご覧下さい。

要求

信感

の判断待たず」

「又発続々」

委員の溝が深まった。昨年八月に整備局が提示した原案は、それまで両者が共有していた基礎案の理念を踏まえていな

国土交通省が淀川水系で計画中の4ダムをめぐり意見が対立している、同省近畿地方整備局の布村明彦局長と同整

した堤防強化策について、整備局側は「ダムの代替案には費用が約23億円と高まっている事

を伝えた。また、過去の運営費が約23億円となっていた事を、民間会社から整備局を

と批判した。4ダムを「一不」として、河川整備示を求めると、整備局は原案の

国土交通省近畿地方整備局の谷本光司河川部長は「十二」

部長は委員会終了後、ダムは必要という意見は変わらない。意見委員会は「この日の審議で、ダムは治水代替案は(最終案となる)河川整備計画案に反映さ

たのは大戸山など四ダム、んだ近畿川水系河川

建設を前提として「適切に」

要求

信感

の判断待たず」

「又発続々」

水利権の転用を協議する

常設機関の設置などを求

る取組を推進する

「又発続々」

の判断待たず」

「又発続々」

水利権の転用を協議する

常設機関の設置などを求

る取組を推進する